

# 7月23日(金) 第一会場 (国際会議場)

一般演題「病態・診断法 1」

9:40~10:50

座長：藤木 稔 (大分医科大学 脳神経外科学 教授)  
難波 宏樹 (浜松医科大学 脳神経外科 教授)

- O1-1 重症頭部外傷慢性期患者の改善度と視床糖代謝の関連 - FDG-PETによる検討 -  
内野 福生、小瀧 勝、岡井 匡彦、小野寺 晋志、吉野 喬博、遠藤 晴子、内田 朋毅、  
岡 信男  
自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科・PET診療部
- O1-2 蘇生後脳症患者における意識障害回復の指標としての11C-フルマゼニルPET  
河井 信行<sup>1</sup>、河北 賢哉<sup>1</sup>、矢野 達也<sup>1</sup>、黒田 泰弘<sup>2</sup>、田宮 隆<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>香川大学 医学部 脳神経外科、<sup>2</sup>香川大学医学部救急災害医学、附属病院救命救急センター
- O1-3 高次脳機能障害者と健常者のしりとり課題中の酸化ヘモグロビンの変動  
土井 亮<sup>1</sup>、森田 喜一郎<sup>2,3</sup>、山本 篤<sup>3</sup>、小路 純央<sup>2,3</sup>、重森 稔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>久留米大学 医学部 脳神経外科、<sup>2</sup>久留米大学 高次脳疾患研究所、<sup>3</sup>久留米大学 医学部 精神神経科
- O1-4 MRspectroscopy (MRS) による遷延性意識障害患者の評価  
糟谷 幸徳<sup>1</sup>、田野倉 亮<sup>1,2</sup>、福山 誠介<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,2</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学大学院医学系研究科脳病態解析学 (連携分野)
- O1-5 頭部外傷後遺症・意識障害患者における聴性脳幹反応と拡散テンソルとの関係の  
評価  
秋 達樹、竹中 俊介、浅野 好孝、篠田 淳  
木沢記念病院・中部療護センター 岐阜大学大学院 医学系研究科脳病態解析学 (連携分野)
- O1-6 視床病変部位と意識障害重症度の相関に関する画像解析  
central thalamusに着目して  
工藤 香名江、棟方 聡、嶋村 則人、松田 尚也、佐藤 純子、大熊 洋揮  
弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科学講座
- O1-7 外傷後遷延性意識障害例における脳波と脳磁図の棘波検出度  
菅野 彰剛<sup>1</sup>、中里 信和<sup>3</sup>、岩崎 真樹<sup>4</sup>、長嶺 義秀<sup>2</sup>、藤原 悟<sup>2</sup>、富永 悌二<sup>4</sup>、川島 隆太<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学 加齢医学研究所 脳機能開発研究分野、<sup>2</sup>広南病院 東北療護センター、  
<sup>3</sup>東北大学 運動機能再建学分野、<sup>4</sup>東北大学 神経外科学分野
- O1-8 痛み関連電位を用いた意識障害の評価  
深谷 親、小林 一太、大島 秀規、山本 隆充、片山 容一  
日本大学 医学部 応用システム神経科学 脳神経外科

座長：栗栖 薫 (広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 教授)  
大平 貴之 (慶応義塾大学医学部 脳神経外科 准教授)

- 1-9 Spinal cord stimulationによる遷延性意識障害の治療：10例の経験  
雄山 博文  
大垣市民病院 脳神経外科
- 1-10 くも膜下出血後遷延性意識障害に対する脊髄刺激療法と長期のリハビリテーションの検討  
平田 好文<sup>1</sup>、村上 雅二<sup>1</sup>、倉津 純一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>熊本託麻台病院 脳神経外科、<sup>2</sup>熊本大学 脳神経外科
- 1-11 慢性期意識障害患者に対する脊髄刺激と正中神経刺激の脳血流に及ぼす効果の経年的変化  
塩貝 敏之<sup>1</sup>、小山 真理<sup>1</sup>、橋本 一二三<sup>1</sup>、水野 敏樹<sup>2</sup>、中川 正法<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科、<sup>2</sup>京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経内科学
- 1-12 遷延性意識障害患者に対する脊髄後索電気刺激療法  
輪島 大介、平林 秀裕、田村 健太郎、井上 正純、中瀬 裕之  
奈良県立医科大学 脳神経外科
- 1-13 脳出血後の痙性斜頸により生じた頭部褥創に対し、ボツリヌストキシンが著効した1例  
小割 健太郎、杉本 圭司、大洲 光裕、高田 大慶、永井 秀政、秋山 恭彦  
島根大学 医学部 脳神経外科
- 1-14 バクロフェンの持続髄腔内投与療法による意識障害改善例の報告  
雄山 博文  
大垣市民病院 脳神経外科
- 1-15 SCSとITBの併用により意識障害が顕著に改善した低酸素脳症の一例  
井本 浩哉<sup>1,2</sup>、藤井 正美<sup>1,2</sup>、野村 貞宏<sup>1,2</sup>、西中 徳治<sup>3</sup>、鈴木 倫保<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>山口大学 医学部 脳神経外科、<sup>2</sup>先進てんかん治療開発共同体、<sup>3</sup>健和会大手町病院 救急科
- 1-16 触覚の違いが筋緊張に及ぼす影響  
井戸 宏美<sup>1</sup>、和田 哲也<sup>1,2</sup>、岩井 香織<sup>1</sup>、槇林 優<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,2</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野

ランチョンセミナー 1

12:00 ~ 13:00

座長：吉本 高志 (独立行政法人大学入試センター 理事長)  
共催：日本メジフィジックス株式会社

「意識障害の脳循環代謝：PET/SPECTによる研究」

下瀬川 恵久  
大阪大学大学院医学系研究科核医学講座

特別講演

13:00 ~ 14:00

座長：鈴木 倫保 (山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授)

「無意識の脳機能イメージング研究」

川島 隆太  
東北大学加齢医学研究所 教授

教育講演

14:00 ~ 14:40

座長：重森 稔 (久留米大学医学部 脳神経外科 教授)

「急性期から日常生活動作の確立を目指す看護とその実際」

林 裕子<sup>1</sup>、紙屋 克子<sup>2</sup>、日高 紀久江<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院保健科学研究院、<sup>2</sup>筑波大学名誉教授/静岡県立大学 看護学研究科、  
<sup>3</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科

教育講演

14:40 ~ 15:20

座長：黒岩 敏彦 (大阪医科大学 脳神経外科 教授)

「高次脳機能障害リハビリテーションのエビデンス」

蜂須賀 研二  
産業医科大学リハビリテーション医学・教授

**教育講演**

15:20~16:00

座長：太田 富雄 (大阪脳神経外科病院、大阪医科大学脳神経外科 名誉教授)

**「Brain Machine Interface (BMI) が拓くリハビリテーションの新たな可能性」**

里宇 明元

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 教授

**教育講演**

16:00~16:40

座長：飯野 英親 (西南女学院大学 保健福祉学部 教授)

**「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師育成による急性期リハビリテーションの意義」**

田村 綾子

徳島大学大学院HBS研究部 保健学部門

**一般演題「神経症候」**

16:40~17:20

座長：塩貝 敏之 (恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科 部長)

篠田 淳 (木沢記念病院中部療護センター センター長)

- 01-17 脳外傷による遷延性意識障害2症例における認知機能の回復過程と発達過程との比較  
端本 真弓<sup>1</sup>、稲垣 就平<sup>1</sup>、斉藤 晴子<sup>1</sup>、小池 澄子<sup>1</sup>、萩原 良治<sup>2</sup>、中村 博彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>中村記念病院 言語療法科、<sup>2</sup>中村記念病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>中村記念病院 脳神経外科
- 01-18 遷延性意識障害者に対するリハビリテーション 症例報告  
鈴木 元気<sup>1</sup>、入 秀樹<sup>1</sup>、岩田 美由紀<sup>1</sup>、小泉 允美<sup>1</sup>、大屋 晴嗣<sup>1</sup>、紙屋 克子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団友志会 リハビリテーション花の舎病院、<sup>2</sup>静岡県公立大学法人 静岡県立大学
- 01-19 ADL場面における半側空間無視が改善した慢性期頭部外傷症例  
大鹿糠 徹<sup>1</sup>、阿部 浩明<sup>1</sup>、長嶺 義秀<sup>2</sup>、藤原 悟<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東北療護センター リハビリテーション科、<sup>2</sup>東北療護センター 診療部、<sup>3</sup>広南病院 脳神経外科
- 01-20 慢性期の左半側空間無視患者に、『左側に注意しなさい』と指導することは妥当なのか？  
片岡 由夏、阿部 浩明、長嶺 義秀  
広南病院 東北療護センター
- 01-21 注視の実現にヘリウム風船が有効だった1例  
鳥居 みゆき<sup>1</sup>、和田 哲也<sup>1,2</sup>、岩井 香織<sup>1</sup>、堺田 麗加<sup>1</sup>、槇林 優<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,2</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野

- O1-22 頭部交通外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療効果の電気生理学的検討  
松本 淳<sup>1</sup>、竹中 俊介<sup>1</sup>、西山 紀郎<sup>2</sup>、遠山 香織<sup>3</sup>、秋 達樹<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1</sup>、篠田 淳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター 脳神経外科、<sup>2</sup>木沢記念病院 臨床検査部、<sup>3</sup>木沢記念病院 看護部
- O1-23 頭部外傷後遷延性意識障害に対する高気圧酸素療法の適応についての検討  
清水 康子<sup>1</sup>、井上 のぞみ<sup>1</sup>、八木 良子<sup>1</sup>、松村 望東美<sup>1</sup>、足立 幸枝<sup>1</sup>、吉田 英統<sup>2</sup>、  
萬代 眞哉<sup>3</sup>、梶谷 伸顕<sup>3</sup>、本田 千穂<sup>3</sup>、衣笠 和孜<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>岡山療護センター 看護部、<sup>2</sup>南岡山医療センター 神経内科、<sup>3</sup>岡山療護センター 脳神経外科
- O1-24 外傷後最小意識状態に対するL-dopa療法  
松田 和郎<sup>1,3</sup>、山上 達人<sup>3</sup>、大原 信司<sup>3</sup>、武内 重二<sup>2</sup>、野崎 和彦<sup>2</sup>、安原 治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>滋賀医科大学 医学部 解剖学講座、<sup>2</sup>滋賀医科大学 医学部 脳神経外科学講座、  
<sup>3</sup>京都きづ川病院 脳神経外科
- O1-25 ACECが目指す意識障害患者のER初期診療手順  
安心院 康彦<sup>1</sup>、奥寺 敬<sup>1</sup>、奥地 一夫<sup>1</sup>、北原 孝雄<sup>1</sup>、黒田 泰宏<sup>1</sup>、島津 岳士<sup>1</sup>、豊田 泉<sup>1</sup>、  
東原 真奈<sup>1</sup>、本多 満<sup>1</sup>、有賀 徹<sup>1</sup>、坂本 哲也<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本臨床救急医学会 意識障害に関するERにおける標準化委員会、<sup>2</sup>帝京大学医学部救急医学講座
- O1-26 DCS療法を受けた意識障害患者への看護ケア ~背面開放座位を導入した一事例~  
中村 佳世<sup>1</sup>、古川 優子<sup>1</sup>、土川 美香<sup>1</sup>、大久保 暢子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>藤田保健衛生大学病院 脳神経外科病棟、<sup>2</sup>聖路加看護大学

# 7月23日(金) 第二会場 (海峡ホール)

## 一般演題「慢性期の管理」

9:30~10:00

座長：富永 悌二 (東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野 教授)

- 1-27 慢性期重度脳損傷患者の骨密度について  
山口 美佐子<sup>1</sup>、萩原 千春<sup>1</sup>、小瀧 勝<sup>2</sup>、岡 信男<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科
- 1-28 頸部保持が可能になった遷延性意識障害患者の事例 - 背面開放座位との関連 -  
秋葉 智子<sup>1</sup>、岸部 友美<sup>1</sup>、小嶋 昌子<sup>1</sup>、大久保 暢子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉療護センター、<sup>2</sup>聖路加看護大学
- 1-29 急性期意識障害患者に対する背面開放座位の効果  
正木 明子<sup>1</sup>、鈴木 公洋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪府立泉州救命救急センター、<sup>2</sup>太成学院大学
- 1-30 遷延性意識障害患者に対する頸部保持への試み ~ 立ち直り反応を利用して ~  
元島 督裕<sup>1</sup>、磯谷 明希<sup>1</sup>、鈴木 千香子<sup>1</sup>、中井 基之<sup>1</sup>、木村 真由美<sup>2</sup>、光増 智<sup>3</sup>、  
萩原 良治<sup>4</sup>、中村 博彦<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 リハビリテーション科 理学療法科、  
<sup>2</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 看護部、<sup>3</sup>医療法人医仁会 中村記念南病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 リハビリテーション科、<sup>5</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科

## 一般演題「精神症状」

10:00~10:30

座長：野田 燎 (大阪芸術大学 教養課程 教授)

- 1-31 情動障害患者への訓練導入方法の検討  
伊藤 智子<sup>1</sup>、和田 哲也<sup>1,2</sup>、浅野 愛子<sup>1</sup>、楨林 優<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,2</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野
- 1-32 脳腫瘍患者の人格特徴理解の試み  
丸山 隆志  
東京女子医科大学 大学院 医学研究科 先端生命医科学分野 先端工学外科専攻
- 1-33 脳卒中後のうつ・意欲低下・高次脳機能障害：意識障害との鑑別の必要性について  
濱 聖司<sup>1</sup>、小林 益樹<sup>2</sup>、金澤 潤一<sup>2</sup>、日比野 誠一郎<sup>2</sup>、佐藤 斉<sup>2</sup>、栗栖 薫<sup>3</sup>、山脇 成人<sup>4</sup>、  
山下 英尚<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>信愛会 日比野病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>信愛会 日比野病院 脳神経外科、  
<sup>3</sup>広島大学 医学部 脳神経外科、<sup>4</sup>広島大学 医学部 精神神経科
- 1-34 遷延性意識障害患者の脱抑制に対するグループ療法を用いた取り組み  
野畑 香織<sup>1</sup>、畠中 由佳里<sup>1</sup>、光増 智<sup>2</sup>、萩原 良治<sup>3</sup>、中村 博彦<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 リハビリテーション部 作業療法科、  
<sup>2</sup>医療法人医仁会 中村記念南病院 リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 リハビリテーション科、<sup>4</sup>医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科

- O1-35 遷延性意識障害患者に対する音楽運動療法の症例報告  
下野 義人  
医療法人 愛生会病院 リハビリテーション課
- O1-36 遷延性意識障害患者への音楽刺激評価 - 唾液アミラーゼを測定して -  
三浦 恵子<sup>1</sup>、大友 昭子<sup>1</sup>、早川 洋子<sup>1</sup>、川熊 のぶい<sup>1</sup>、長嶺 義秀<sup>2</sup>、藤原 悟<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>広南病院 東北療護センター看護部、<sup>2</sup>広南病院東北療護センター診療部、<sup>3</sup>広南病院 脳神経外科
- O1-37 遷延性意識障害患者に対し腹臥位療法が有用であった1例  
高尾 真由美、山崎 加代子、城美 愛、池永 奈緒、山下 順子  
山口大学医学部附属病院 脳神経外科
- O1-38 交通事故による慢性期重度脳損傷患者に対する合同訓練の試み  
船倉 美香<sup>1</sup>、児島 美智子<sup>1</sup>、小林 球記<sup>1</sup>、萩原 千春<sup>1</sup>、山口 美佐子<sup>1</sup>、小瀧 勝<sup>2</sup>、岡 信男<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科
- O1-39 意識障害患者に対する作業療法適応基準の検討  
細江 誌乃<sup>1</sup>、和田 哲也<sup>1,2</sup>、浅野 愛子<sup>1</sup>、岩井 香織<sup>1</sup>、榎林 優<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,2</sup>、篠田 淳<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>木沢記念病院 中部療護センター、<sup>2</sup>岐阜大学連携大学院脳病態解析学分野

- O1-40 栄養剤注入直後に経鼻胃管を開放することで胃食道逆流を予防できるか？  
布澤 千春<sup>1</sup>、飯島 美穂<sup>1</sup>、石田 かすみ<sup>1</sup>、岡本 美和<sup>1</sup>、小田嶋 夕貴<sup>1</sup>、堀井 和正<sup>1</sup>、  
佐々木 優子<sup>1</sup>、水成 隆之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター、  
<sup>2</sup>日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター 脳神経外科
- O1-41 誤嚥性肺炎を繰り返す要因とその対処方法  
平元 美由紀、大前 綾子、松村 望東美、八木 良子、足立 幸枝、梶谷 伸顕、萬代 眞哉、  
本田 千穂、衣笠 和孜  
独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター
- O1-42 摂食嚥下障害におけるフィジカルアセスメント能力向上に向けての試み  
佐藤 恵美子、五島 育美、田中 香織、福井 友佳、金子 五和、山下 順子  
山口大学 医学部附属病院 脳神経外科
- O1-43 意識障害例での経口摂取支援のための口腔装置 (PAP)  
舘村 卓<sup>1,2</sup>、吉田 春陽<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 歯学研究科 高次脳口腔機能学講座、<sup>2</sup>社団法人 TOUCH、<sup>3</sup>吉田歯科医院

○1-44 気管カニューレ留置中の遷延性意識障害患者における気管内視鏡による肉芽形成の評価

竹中 俊介<sup>1,2</sup>、秋 達樹<sup>1,2</sup>、三輪 和弘<sup>1</sup>、浅野 好孝<sup>1,4</sup>、西脇 由佳<sup>3</sup>、稲川 里香<sup>3</sup>、鈴木 志帆<sup>3</sup>、岩間 亨<sup>2</sup>、篠田 淳<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>木沢記念病院・中部療護センター 脳神経外科、<sup>2</sup>岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野、

<sup>3</sup>木沢記念病院・中部療護センター 看護部、<sup>4</sup>岐阜大学大学院医学系研究科 脳病態解析学(連携分野)

○1-45 遷延性意識障害患者にみられた陳旧性関節突起骨折の1例

安田 順一<sup>1</sup>、竹中 俊介<sup>2</sup>、豊島 義哉<sup>2</sup>、篠田 淳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>朝日大学 歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野、<sup>2</sup>木沢記念病院 中部療護センター